

MOTOYAMA



広報もとやま

Public Relations Motoyama 2024 vol.257



本山町の情報をお届けします

Kochi ebooks

10月号

令和6年8月10日 町民祭フィナーレを飾る花火 (P3に関連記事を掲載)

の風物詩 開催されました

前夜祭

8月9日（金）プラチナセンターふれあいホールにて、町民祭前夜祭が開催されました。

オープニングは姫流太鼓の演奏から始まり、民踊、カラオケ、フラダンス、コーラス、軽音部、チェリーオーケストラの演奏や歌、踊りが披露され、手拍子やアンコールがでるほどに盛り上がりました。また、プラチナセンター駐車場内では屋台や飲食ができるブースが設けられ、家族連れなどで賑わいました。

演奏終了後にはお楽しみ抽選会が行われ、当選された方々からは歓声が上がり、最後まで楽しんでいました。

最後は本山町文化協会の杉本会長が閉会の挨拶をし、無事に前夜祭が終了しました。



民踊



フラダンス



お楽しみ抽選会で特等に当選された方



チェリーオーケストラ



嶺北の夏 本山町民祭が

本 祭

8月10日（土）前日の前夜祭に続き本山町民祭が吉野川ふれあい広場で開催されました。

初めに、プラチナセンターで数字の的をフリスビーで射貫くストラックアウト大会が開かれ「想像した以上に曲がってしまう！」「もっと勢いをつけて投げてみて！」「何回も挑戦していいの？」と言った声が飛び交い、多くの子どもたちや保護者等が競技に魅了されていました。

吉野川ふれあい広場では、もとやま姫流太鼓によるオープニングセレモニーによって民踊大会が開幕しました。本山保育所、大石、寺家、民踊クラブ、三区、役場チームが参加しました。チェリーオーケストラによる「よさこい鳴子踊り」の演奏が始まると、踊り子も自然と体が動き始め、会場の熱気が高まっていました。子どもたちの愛らしい踊り、軽快な曲での一味違った盆踊りなど、それぞれの魅力で観客を盛り上げました。また、民踊クラブの飛び入り参加型の踊りでは、ベテランメンバーのレクチャーのもと、多くの来場者が飛び入り参加し、だんだんと笑顔になっていく様子が印象的でした。

チェリーオーケストラの皆様には、大会での入退場曲「よさこい鳴子踊り」の他「長い夜」「闘牛士のマンボ」などを演奏いただき、迫力ある演奏が会場のムードを作りました。

午後9時には、約160発もの色とりどりの花火が打ち上げられ、ラストは空いっぱいの大柳で無事に町民祭が終了しました。



姫流太鼓によるオープニングセレモニー



会場の様子

実行委員会からの感想

町民祭開催の2日前に起きた地震により南海トラフ地震臨時情報が発表され、無事に町民祭を開催できるのか、ドキドキしたことでした。急遽実行委員会を開き、地震に備えた体制を整えて開催することが決まり、当日までに精いっぱい準備を重ねました。

前夜祭に引き続き、当日は多くの方に来場いただき、町民祭を無事に終わることができ、ほっと安心しました。また、住民の皆さまから頂いた寄付金は9月10日（火）時点で総額268,550円となっています。寄付金は花火大会の費用として活用させていただきました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。また来年みなさんに喜んでいただける町民祭を開催するべく、今年度の良かった点と、悪かった点を改めて見直し改善していきます。ぜひ今後とも、一緒に町民祭を盛り上げていきましょう。たくさんのご協力、本当にありがとうございました。



シャッターアートを描いてまちを賑やかにしよう！

本山町まちなか活性化×嶺北高校探究活動×高知大学えんむすび隊

7月28日（日）嶺北高校生がシャッターアートイベントを開催し、高知大学えんむすび隊および地元住民らが参加しました。

地域でまなぶ 地域をまなぶ

嶺北高校では総合的な探究の時間を「嶺北探究」と名付け、生徒それぞれが地域の課題と自分の興味を掛け合わせた探究課題に取り組んでいます。

今回、嶺北高校3年生による「シャッターアートプロジェクトチーム」では、“まちなかの活性化”を探究活動のテーマとし、空き店舗等の活用や、まちなかを賑やかにするためどうすべきか地域に入り検討した結果、昨年に引き続き2カ所目となるシャッターアートに取り組むこととしました。

昨年施行したシャッターアートのすぐ南が今回の施行場所。縦225cm・横270cmが2枚並ぶ大きなシャッターに高校生がデザインした絵を高知大学えんむすび隊や地域住民らとアートを描きました。



今回の絵のテーマは“海”

中心に町花である桜をあしらった巨大なエイが泳ぐ絵に、高知大学生や飛び込み参加の地区住民らが思い思いの絵を加え、まちなかに巨大な一枚の絵が完成しました。参加した高知大学生からは「地元の人たちがたくさん声を掛けてくださってうれしかった」「絵によって地域を盛り上げたり、景観を変化させることで活性化につながることを実感した」「高校生や地元の人たちと大きな作品を作り上げることができ、素敵な体験ができた」など声がありました。今回このイベントを企画した嶺北高校3年生齊藤優輝さんからは「たくさんの人たちの協力のおかげで今回のシャッターアートを完成させることができたことをとてもうれしく思います。活動を行っているときもたくさんの人が声をかけてくださったり、飲み物やアイスを差し入れてくれたり、この地域の温かさを改めて感じることができました。また絵を描いてくれた子どもたちも楽しんでくれていて、この活動の目的である地域の活性化に少しでもつながったと感じました。地域の方たちにこの完成したシャッターアートを楽しんでもらえたらいいと思います」と語っていました。

ぜひ皆さまもこのシャッターアートをご覧ください。



本山町指定無形民俗文化財 上関阿弥陀堂奉納相撲大会

8月14日（水）上関地区において恒例の上関阿弥陀堂奉納相撲大会が行われました。

この相撲大会は、本山町指定の無形民俗文化財であり、江戸時代後期に上関地域で疫病がはやり、人々が不安と絶望に打ちひしがれていたとき、病気の回復と豊作を願って草相撲の横綱に土俵入りしてもらったことが起源といわれています。コロナ禍の中、一時休場となっていました。が、昨年の再開後、男女合わせて25人と例年にも増して多くの力士が集まりました。

まず、子ども相撲やカラオケ大会、福引抽選により会場の雰囲気は熱気が高まり始めました。そして、女性参加者がまわしを締めての女相撲が始まり、メインイベントである男性力士が取組を始める頃には興奮と期待の高まりが最高潮となっていました。

今年は、男性に混じり取組を行った女性力士、愛媛県から駆け付けた72歳の男性力士、ニュージーランドなど外国からの移住者の参加もあり、バラエティに富んだ大会となりました。

この相撲大会を毎年楽しみに応援に来ているという男性は「今の若い衆は相撲をやりゆうようで、100メートル走みたいな取組をしゅうね」と、激しいぶつかりあいに目を細めていました。

午後8時頃から始まった取組は10時近くまで行われ、参加した力士は獲得した賞金を手に、笑顔で土俵を後にしていました。



ひろしま平和学習ツアー

8月24日（土）教育委員会主催の『ひろしま平和学習ツアー』を実施しました。このツアーは人権教育の取り組みの一環で、今年は広島県の平和記念資料館を見学し、改めて戦争の愚かさを知り、命の尊さを学びました。

先着20人で募集したところ、締め切り後も定員を超える問い合わせがあり、住民の皆さまの関心が高いことを実感しました。

当日は老若男女問わず幅広い年齢層の方に参加いただき、子どもさんからは「実際に写真や遺品を見て、改めて戦争の恐ろしさを知った」「平和記念資料館でいるんなことが知れて良い機会になった」、一般の方からは「幼い頃に見たものと、大人になって見るものとは違ったものがあり、言葉に詰まる思いでした」「子どもと参加できて、親子で平和の大切さを学ぶことができてよかった」との感想がありました。

資料館の見学後は、周辺の商店街などで各自観光も楽しみ、有意義な一日となりました。



● 問い合わせ先 ○教育委員会 社会教育班 ☎ 76-2084



PEN RELAY No.24

自然も人もびやかに 生きることを目指して

なかた
中田 麻祐子さん

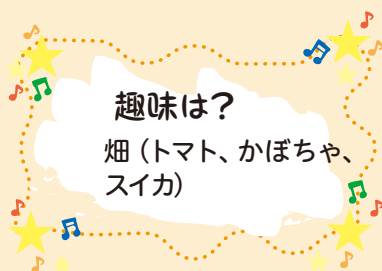
私は東京都中野区出身で、平成28年に本山町の地域おこし協力隊員として移住してきました。
当時、田舎暮らしに憧れていたことと、夫婦で山や森林が好きなことから、林業が盛んな本山町の移住イベントに参加した際、町に興味を持ったことが移住のきっかけでした。

私が地域おこし協力隊となった当時は、観光や帰山公園の植物調査などに携わっていました。現在は、「土佐本山コンパクトフォレスト構想」に関わる調査や、小学校などの環境教育の授業やコーディネートを行っています。

また、令和5年度から吉野運動公園で『大地の再生講座』を行っており、講師の方をお呼びして、草木や土の手入れをすることで土地全体が元気になる仕組みを、たくさんの方に学んでいます。

私の興味の中心は「自然」と「子ども」です。本山町内で、もっと親子が気兼ねなく過ごせるプレーパーク（遊具のある公園ではなく、遊びを子ども自ら発見・挑戦できる場所）のような場所があればと感じています。制限なくのびのびとやりたいことをすることで、豊かな人間形成がされると考えています。

また、ここ数年で地域に広げつつあるのが「話を聴き合う」文化です。「話をありのまま、評価・判断せずにまるごと受け止める聴き方」の大切さを学びました。その聴き方は、一人一人の本来の力が発揮されるために必須だと思い、保育所職員研修や母親大会で講師をつなぐサポートをしました。もし興味があれば、無料で20分話を聴いてくれたり（ママ限定）、聴き方を学べる子育て支援プロジェクト「リスママ」を、ぜひ利用してみてください。



次号は、中田さんからご紹介いただいた上地正人さんです。



リスニングママ・プロジェクト
QRコード



県の文化財調査で八反奈路へ



NPO法人リスニングママ・プロジェクト
代表講師の高橋ライチさんと

令和12年度に県内国保の保険料水準の統一を目指します

将来に向けた保険料負担の抑制について

- 全国に先駆けて人口減少が進行している高知県では、今後も国保加入者の減少が見込まれます。このため、国保制度の財政運営が不安定になる可能性があることから、県内国保を安定的かつ持続可能な制度にするため、保険料水準の統一に取り組んでいます。
- 一方で、医療の高度化などに伴い、一人当たりの医療費が増加していることなどから、将来的な保険料負担は増加する見込みです。
- このため、県・市町村では、県内国保の保険料水準の統一と併せて、医療費の適正化に取り組み、将来的な保険料負担の抑制を図ります。

医療費の適正化に向けた取り組み

- 県では、医療費分析に基づく高知県国保データヘルス計画を策定し、県と市町村が一体となって、データに基づく効率的かつ効果的な保健事業により医療費の適正化に取り組めます。
- 市町村では、市町村データヘルス計画を策定し、特定健診の実施率向上・糖尿病性腎症重症化予防の取り組み促進など、より効果的・効率的な保健事業に取り組めます。

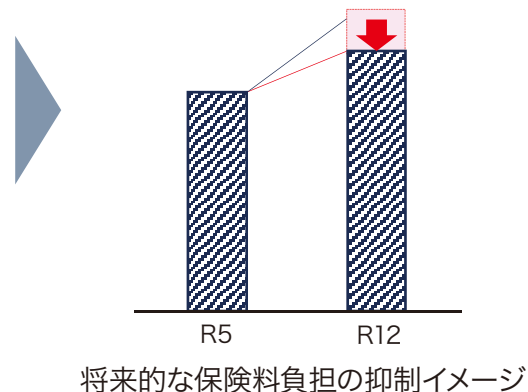
高知県国保データヘルス計画

- ①共通指標・共通目標
県と市町村が取り組む共通の項目と目標の設定
- ②医療費分析
レセプトデータを活用し、県内の医療費の傾向を分析
→共通指標や市町村の個別の保健事業に反映
- ③見える化・標準化
毎年度、各市町村の取り組みの内容や努力・成果を公表

市町村データヘルス計画

- ①県内共通指標・目標の記載
- ②個別の保健事業の記載

連携した取り組みを通じて、将来的な保険料の抑制を図る部分



各種給付の取り扱いについて

- 保険料水準の統一に向けて、各種給付についても、県内での統一した取り扱いとなるよう、県内市町村と協議を行っています。
- 例えば、各市町村の条例で定める葬祭費については、県内で統一する予定です。

保険料(税)の減免基準の取り扱いについて

- 保険料(税)の減免基準については、各市町村の条例等で定めていますが、市町村ごとに基準が異なる場合があります。
- このため、保険料水準の統一と併せて、保険料(税)の減免基準についても、県内での統一的な基準の策定を目指して協議を行っています。

引き続き、県内国保を安定的かつ持続可能な制度にするための取り組みを県と市町村が協力して進めていきます。

本山町の保険税の改定方針について

- 令和7年度に統一の賦課方式へ改定し、医療分・後期高齢者支援金分は資産割を廃止した3方式(所得割、平等割、均等割)、介護分は資産割・平等割を廃止した2方式(所得割、均等割)とします。
 - 上記賦課方式の変更により保険税率の改定を検討しています。
- ※資産割…国民健康保険に加入している人で、町内に土地または家屋を持ち、固定資産税が課税されている人について計算される割合。

- 問い合わせ先
 - 市町村担当窓口 住民生活課 国保係 ☎ 76-2115
 - 高知県担当窓口 高知県健康政策部国民健康保険課 ☎ 088-823-9644

国民年金保険料の「口座振替」を利用しませんか？

口座振替は、ご指定の金融機関の預金口座から、定期的に国民年金保険料を振替して納付する方法です。手間がかからず、納め忘れを防ぐこともできます。

「国民年金保険料口座振替納付（変更）申出書」に必要な事項を記入・押印（金融機関への届出印）し、お近くの年金事務所へ郵送、または、年金事務所や口座振替を行う口座のある金融機関・郵便局の窓口へ提出してください。保険料の納付期限は翌月末です。口座振替日が土・日・祝日の場合は、翌営業日に引き落としされます。口座振替申し出の開始時期等は、手続き完了後に通知します。通知が届くまでの間は、納付書を大切に保管してください。

※「国民年金保険料口座振替納付（変更）申出書」は役場や年金事務所の窓口、日本年金機構ホームページにあります。

● 問い合わせ先 ○ 住民生活課 住民班 ☎ 76-2115 ○ 南国年金事務所 ☎ 088-864-1111

防災コーナー

災害発生！ あなたはどこに逃げる!?

災害が発生したときに大切なことは、自らの命は自らが守る意識を持ち、自らの判断で避難することです。

いざというときに判断に迷うことがないよう、防災情報で見聞きする言葉の意味を再確認し、迷いなく避難の判断ができるようになります。

避難できる場所を理解しよう

もしものときに避難するのは「緊急避難場所」です！「避難所」ではありません。

緊急避難場所

洪水による危険が迫っているとき、命を守

るために緊急かつ一時的に避難する場所。例えば、屋内なら小学校や中学校、屋外なら自然の高台や広い公園などが考えられます。公共の施設でなくても、安全が確認できていれば、親戚や知人宅などでも構いません。

避難所

災害が起こってから一定の時間がたち、危機が去った後に帰宅できないなど避難が長引く場合に、緊急避難場所から移動（移行）して滞在・生活する施設。

学校やコミュニティセンターなど、緊急避難場所と避難所の両方の役割を兼ねている施設もあります。

本山町 指定緊急避難場所・指定避難所一覧

R06.04.01 現在

一連 番号	収容施設	所在地	指定緊急避難所		指定 避難所	一連 番号	収容施設	所在地	指定緊急避難所		指定 避難所
			地震	土砂災害					地震	土砂災害	
1	本山町小学校体育館	本山458番地	○	○	○	16	上関集会所	下関1866番地1	○	○	○
2	本山小学校グラウンド	本山458番地	○	○	—	17	東部コミュニティセンター	高角437番地1	○	—	—
3	本山町プラチナセンター	本山569番地1	○	○	○	18	シェアオフィス「もとやま」駐車場	高角437番地8	○	—	—
4	一区コミュニティセンター	本山143番地4	○	—	—	19	帰全の森体育館	本山2133番地	○	○	○
5	二区コミュニティセンター	本山303番地イ	○	—	—	20	帰全の森グラウンド	本山2133番地	○	○	—
6	三区コミュニティセンター	本山463番地1	○	○	○	21	北山西集会所	北山丙439番地	○	○	○
7	嶺北高等学校体育館	本山727番地	○	○	○	22	上奈路複合集会所	北山甲268番地1	○	○	○
8	嶺北高等学校グラウンド	本山727番地	○	○	—	23	寺家公民館	寺家517番地1	—	—	—
9	四区コミュニティセンター	本山837番地1	○	○	○	24	吉野公民館	吉野410番地	○	—	—
10	本山町社会福祉会館	本山1041番地	○	○	○	25	吉野小学校体育館	吉野161番地	○	○	○
11	南部複合集会所（大石）	大石355番地	○	—	—	26	吉野小学校グラウンド	吉野186番地	○	○	—
12	吉延集会所	吉延796番地	○	—	—	27	汗見川ふれあいの郷集会所、清流館	沢ケ内626番地	○	○	○
13	三寄集会所	井窪30番地1	○	—	—	28	屋所集会所	屋所147番地	○	○	○
14	古田集会所	本能津704番地	○	—	—	29	瓜生野コミュニティセンター	瓜生野544番地1	○	○	○
15	下関公民館	下関203地1	—	○	—						

※地震：耐震性がある○、ない—
※土砂災害：土砂災害が起こるおそれのある区域にある一、ない○
※指定避難所：使用する○、しない—

● 問い合わせ先 ○ 総務課 ☎ 76-2223



なないろの森通信



城山の森整備計画検討分科会を開催しました

7月17日（水）第1回城山の森整備計画検討分科会を開催しました。

城山の森は、本山町の中心市街地の南側に位置する町有林で、本山町の多くの住民の「裏山」として昔から愛されてきました。城山と言われる通り、山頂部には城跡があり、登り口には十二所神社、野中兼山の作った水路があるなど文化的にも重要なエリアとなっています。

20年前に遊歩道の整備や広葉樹植栽が行われたものの、その後の手入れ不足もあり入りづらくなりつつあるのが現状です。

この森をなないろの森のひとつである「童心の森」と位置づけ、人々が自由に自然を楽しむことのできる森としていくために、城山の森の整備計画を作成し、その計画に基づいて整備を進めていくこととしました。

分科会の委員には、観光協会や地元区長等の地区関係者に参加いただいております。

第1回としてまず初めに、この分科会の目的や城山の現状、昨年度の委員会で行った現地視察でのご意見を報告しました。特に、通行の安全はもちろんのこと、防災関連の指定を受けていることから、災害防止の観点も踏まえた整備の必要性もあり、図面を見てもらいながら状況を確認しました。

その後、委員の皆さんからざっくばらんな意見をいただきました。昔登って遊んだ思い出やこれまでの整備の経緯、最近入った印象や、こんなふうにしていったらいいんじゃないかというイメージをたくさん出していただきました。

こうした意見の集約や、委員の皆さんと実際に森に行くことを通して、来年度の整備実施に向けて検討を進めていきます。



分科会の様子



シャクナゲの咲く城山の森

※「なないろの森通信」では令和3年度に策定した「土佐本山コンパクトフォレスト構想」を広く知っていただくために、毎月本山町の森林・林業についての記事を掲載していきます。

● 問い合わせ先

○ まちづくり推進課 ☎ 76-3916



地域おこし協力隊通信



地域おこし協力隊・地域フォレストターの石川友博です。本山町の地域おこし協力隊員になり、2年目となります。林業の事情や林業の技術取得に日々奮闘しており、消防団に入団させてもらっています。操法大会にて1等賞として銅メダルを頂きました。先輩の消防団員の方々の指導を頂き、大変ありがたいと思っています。本山町の力になれますように、これからも頑張ります。よろしくお願いします。いしかわともひろ



【今月の担当】
地域フォレストター
いしかわともひろ
石川 友博

毎月19日は「食育の日」

～ インフルエンザを予防しよう!! ～

毎年、秋から冬にかけて、インフルエンザの流行シーズンです。高熱や全身のだるさなどの全身症状を伴い、抵抗力が弱い方（幼児・高齢者など）が感染すると、重症化するおそれが高まります。かからない、うつさないために、日頃からしっかりと手洗い、マスク着用の咳エチケットなどをこころがけましょう。



本山町食生活改善推進協議会の活動報告

7月26日（金）プラチナセンターにて、自己学習としてヘルスメイトを対象に推進教室を実施しました。株式会社フタギグループの方による防災セミナーの研修を行い“命を守る備え”についてのお話や揺れマット体験などもあり、災害発生時での対応の仕方や日常の備えの大切さについて学びました。また、調理実習では災害食を作りました。今回は調理実習で作ったツナと豆腐のつくね焼をご紹介します。ぜひご家庭で作ってみてください。

《ツナと豆腐のつくね焼》1人分

★材料★

- ツナ缶…………… 50g
- 木綿豆腐…………… 1丁(300g)
- 玉ねぎ…………… 80g
- 片栗粉…………… 大さじ4
- パン粉…………… 36g
- 塩こしょう…………… 少々
- サラダ油…………… 適量
- うすくちしょうゆ… 大さじ2
 砂糖…………… 大さじ2
 片栗粉…………… 大さじ1・ $\frac{1}{3}$
 水…………… 150ml

★作り方★

- ① ツナ缶は油切りをする。
木綿豆腐は水切りをしておく。
玉ねぎはみじん切りにする。
- ② ボウルに①・片栗粉・パン粉・塩こしょうを入れてよく混ぜる。
- ③ 4等分にして小判型に丸め、油を熱したフライパンで両面を焼く。
- ④ 鍋にAの材料を入れ、底からよくかき混ぜながら火にかけ、あんを作る。
- ⑤ 皿に③のをのせて、④のあんをかける。



【調理実習で作った料理】



【教室の様子】



◎毎月19日は、「食育の日、家族そろっていただきますの日」と設定し、できる限り地域の食材を使い、家族で食事の準備をし、家族そろってゆっくり食事をいただき、食育について考え、実施する日としています。

《本山町食生活改善推進協議会》



大原富枝文学館企画展

忍びてゆかな

—大原富枝と津田治子

ハンセン病により全てを奪われながらも
生き難き生を生き抜いた歌人・津田治子。

生きるとは。文学とは。

2024年

8月4日回 ≫ 11月24日回

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日(祝・祭日の場合は翌火曜日)



『津田治子全歌集』ほか、療友の歌集が並ぶ。

ほうじょうたみお あかし かいじん おがわまさこ
北條民雄、明石海人、小川正子らの著書も。

国策「絶対隔離政策」のため、名も消し里も消し、別人となつて生きることを強いられたハンセン病患者。1996(平成8)年3月に「らい予防法」が廃止されるまで、患者の終身強制隔離、患者絶滅政策が存続しました。

ハンセン病により全てを奪われながらも、短歌という自己表現を得て、51年の生涯を生き抜いた歌人・津田治子。大原富枝は、彼女の生涯を「忍びてゆかな 小説津田治子」に作品化し、1980(昭和55)年から1982(昭和57)年にかけて「婦人之友」に発表しました。

ともに1912(明治45・大正元)年に生まれ、同時代を生きた大原富枝と津田治子。2人の文学を通して、ひいてはハンセン病患者の文学を通して、生きるとは、文学とは何かを探ります。

昭和10年代の初め、ハンセン病患者の文学が相次いで出版され、大きな反響を呼びびます。

1936(昭和11)年、「文学界」2月号に北條民雄の『いのちの初夜』が発表され、文壇に衝撃を与えました。北條民雄は1934(昭和9)年、20歳で東京府下全生病院(現・多磨全生園)に入院。隔離された療養所で誰にも著作を読まれないことに絶望し、面識のない川端康成に「読んでほしい」と手紙を送ります。当時「文学界」の編集をしていた川端は、9通もの往復書簡で北條を励まし、作品を世に送り出しました。北條は「文学界賞」を受賞、以降は療養所から「中央公論」「改造」「文芸春秋」にも作品を発表し、1937(昭和12)年12月5日、結核のため死去しました。享年23歳でした。

1938(昭和13)年には、岡山県瀬戸市長島愛生園の女医・小川正子の『小島の春』が、1939(昭和14)年には、同園の療養者・明石海人の歌集『白描』が出版されます。



昭和13年4月創元社刊。北條民雄病没の翌年、川端康成が編纂。高知県立図書館所蔵 川村源七氏関係資料。

ハンセン病文学の開花期



MOTOYAMA

学校・育だより

Vol.195



令和6年度嶺北高校 活動の記録



4月8日(月) 41人の新入生を迎え入れ、新2・3年生、そして地域みらい留学365制度を活用した国内留学生2人を加えた105人で令和6年度をスタートしました。

嶺北高校は地域に支えられ、校内外でさまざまな行事やキャリア教育、探究活動等に取り組み、地域貢献、そして進路実現に向け頑張っています。

今回は、1学期間に取り組んだ行事等の一部をご紹介します。嶺北高校の取り組みを知っていただき、引き続き地域の皆様からのご支援をよろしくお願いします!

行事

4月当初には入学式、対面式、中高合同対面式、5月は春の遠足、部活動最大行事の「県体」、そして6月には嶺北高校の文化祭「嶺高祭」など多くの行事がありました。

嶺高祭



ホームマッチ



部活動



5月18日(土)から3日間、令和6年度高知県高等学校体育大会(県体)が開催され、本校からカヌー男女・バドミントン男女・バレーボール女子・剣道男子の4競技に出場しました。

結果、カヌー一部で連年のインターハイ出場を勝ち取ることができました!応援ありがとうございました。

2024インターハイ出場
カヌー部女子 梶崎 未祐

講演・実習等



キャリア教育の一環として「車いすラグビー体験」「外務省講座」「分野別説明会」また農業3年生は森林環境税を活用して教育の森の現地見学を行いました。

保小中高連携



同居する嶺北中学校とは合同避難訓練のあと火起こし体験を行いました。また、保育所と小学校と連携し、さつまいもやじゃがいもの植えつけを行いました。次は収穫です。楽しみです!ね♪

★10月の行事日程★

★本山小★

9/30(月)~10/4(金) 家庭学習強化週間
10/ 4(金) 公開授業研(3・5年生)
10/ 9(水)~11(金) 6年修学旅行
10/18(金) 読み聞かせ
10/23(水) 伝承料理体験(2年)
10/26(土) 人権教育参観日
10/28(月) 代休(10/26)

★吉野小★

10/9(水)~11(金) 6年修学旅行
10/22(火) 伝統料理体験
10/28(月) イングリッシュデイ
10/31(木) 公開授業研(1年~4年)

★子育て支援センター★

10/ 8(火) 絵本に親しもう
10/11(金) まばじば教室「いのちの教室」
10/25(金) 作ってあそぼう

★嶺北中★

10/ 4(金) 第2回英語検定(1次)
10/ 5(土)・6(日) ソフトボール
新人戦(春野運動公園)
10/ 8(火) 中間テスト発表
10/10(木) 本山市道徳公開授業
(嶺北中学校)
10/12(土) ソフトボール新人戦予備日
(春野運動公園)
10/12(土)・13(日) ソフトボール県選抜
選手選考会(春野運動公園)
10/15(火)・16(水) 中間テスト
10/16(水) クラスマッチ
10/24(木) 本山市指定公開授業
(嶺北中学校)
10/29(火) 1・2年英検I BA
10/31(木) 第4回3年生実力テスト・
3年生進路説明会

★本山保育所★

10/ 5(土) 運動会
10/ 8(火) 第1回ペアレントプログラム
10/ 9(水) 子育てサロンすまいる
10/16(水) 幼児組健康診断
10/17(木) 不審者対応訓練
10/21(月) 避難訓練
10/22(火) 乳児組健康診断
10/23(水) 野球教室(きりん組)
10/23(水) ひよこ組クラス懇談会
10/24(木) 子育てサロンすまいる
10/25(金) 第2回ペアレントプログラム
11/ 1(金) 親子遠足

★嶺北高校★

10/10(木)~16(水) 中間テスト
10/22(火)~25(金) 2年生修学旅行
10/25(金) ホームデー(1・3年生)